

77R&C

調査月報

2025.

7

■ 県内経済動向	1
■ 主要経済指標	12
■ 経済日誌	16
■ 今月の事件簿	17
備蓄米放出の謎・既視感漂う政策姿勢	

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

県内経済の基調判断

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は持ち直しの動きとなっている。住宅投資は反動などから大幅に減少している。個人消費は一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

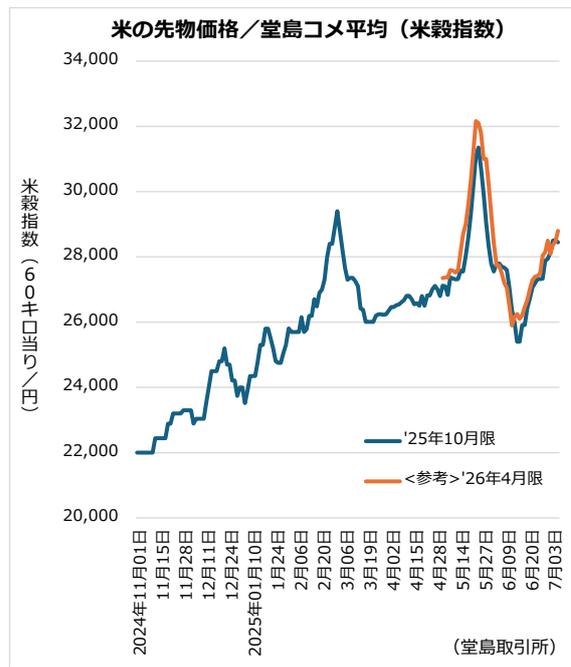
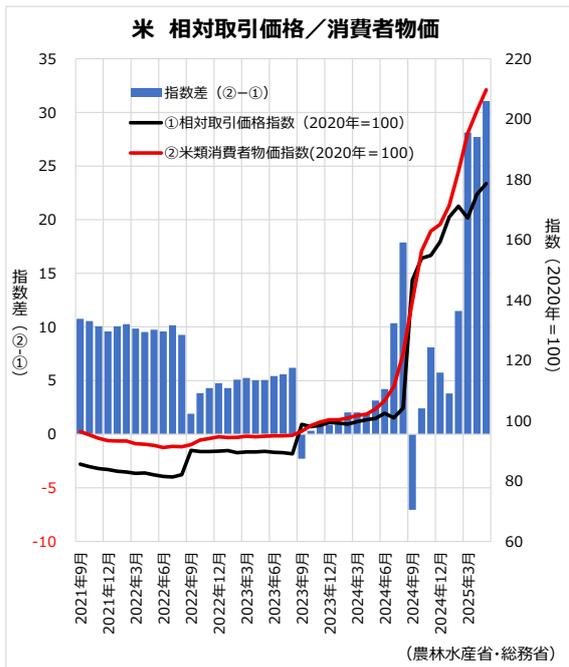
(参考) 県内景況判断の推移

	2025年5月	6月	7月
総括判断	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	<u>下げ止まりつつある</u>	下げ止まりつつある	<u>持ち直しの動きとなっている</u>
住宅投資	<u>このところ上振れしているが、基調としては弱めの動きとなっている</u>	<u>反動などから大幅に減少している</u>	反動などから大幅に減少している
個人消費	<u>一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる</u>	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている
	2024年7~9月	10~12月	2025年1~3月
企業景況の感	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	<u>持ち直しの動きが鈍化し、厳しさがうかがわれるものとなっている</u>

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

今月のポイント

物価上昇ペースの加速により実質賃金は前年割れが続いており、県内では個人消費に弱さが目立つようになってきています。要因の一つである米価の高騰は備蓄米放出など政府の一連の抑制策によりやや落ち着きつつあります。ただ、単純な需給のみならず複雑な流通経路や収穫統計に関する制度の問題など複合的要因から依然として高値で推移しており、購入量が減っていないため今後も高止まりするという見方が根強くあります。生活必需財中心の物価上昇は家計心理や購買力を押し下げるため政策期待が高まりますが、短期的な弥縫策の繰り返しでは限界があり、構造的な諸課題への取り組みが不可欠な状況と言えます。



(全国、東北経済の基調判断) <要約>

	月例経済報告 (全国)	経済の動き (東北)
景気全体	緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる (6月11日)	持ち直している (6月18日)
個人消費	消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる	緩やかに回復している
設備投資	持ち直しの動きがみられる	増加している
住宅投資	おおむね横ばいとなっている	弱い動きとなっている
公共投資	底堅く推移している	持ち直している(△)
生産	横ばいとなっている	持ち直している
雇用	改善の動きがみられる	改善している

注) 下線部は上方修正(△)または下方修正(▽)

(出所:内閣府、日銀仙台支店)

77B I

77B I (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

5月の77B I (暫定値)は、前月比0.8ポイント上昇の100.1となった。

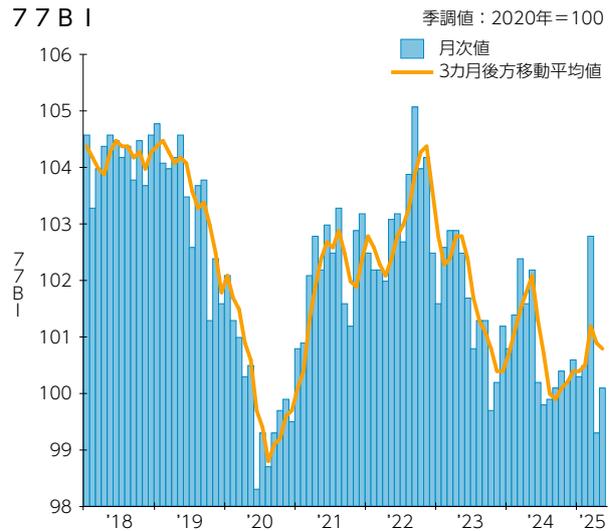
採用指標別にみると、宮城県消費動向指数、建築物着工床面積は前月比上昇し、有効求人倍率は前月比横ばいとなった。また、4月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.1ポイント低下の100.8となった。

単月では前月落ち込んだ消費動向指数に連動して持ち直していますが、その動きと同様に勢いは弱く、移動平均値もほぼ横ばいとなっています。



77B I



出典：当社作成 (以下も同じ)

77B I (季節調整値、2020年=100)

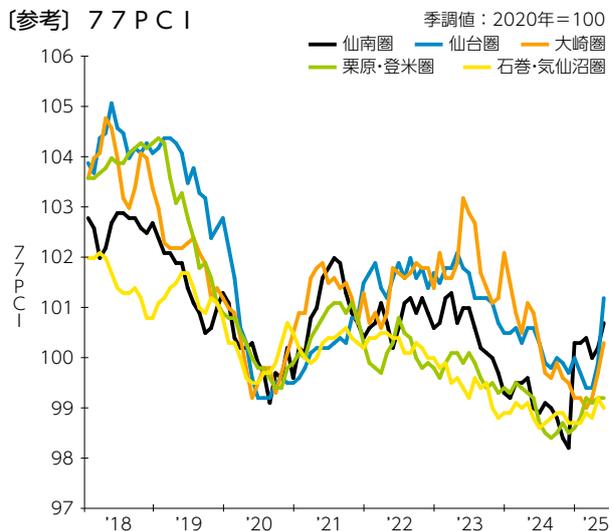
	2025年3月	4月	5月
B I 値	102.8	99.3	100.1
鉱工業生産指数	114.3	102.7	102.7
宮城県消費動向指数	103.9	90.1	95.3
建築物着工床面積	130.8	36.3	195.9
有効求人倍率	99.5	97.1	97.1

[参考] 77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2025年3月	4月	5月
仙南圏	▲ 0.3	0.2	0.5
仙台圏	▲ 0.01	0.5	1.3
大崎圏	0.2	0.5	0.6
栗原・登米圏	▲ 0.1	0.1	0.02
石巻・気仙沼圏	▲ 0.1	0.4	▲ 0.2

※77B Iは、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

[参考] 77P C I



出典：当社作成 (以下も同じ)

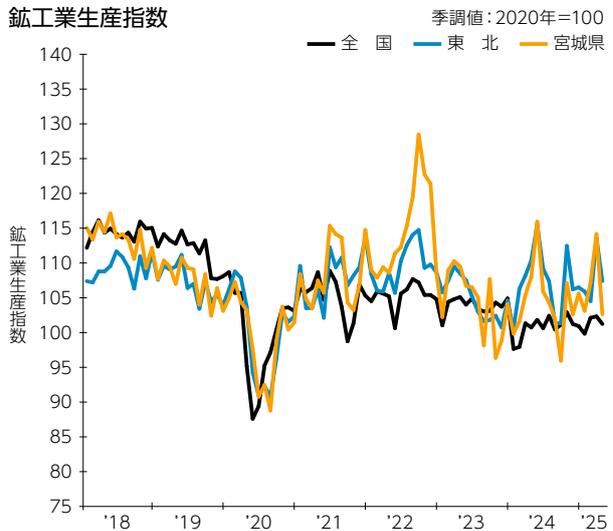
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

4月の鉱工業生産指数は、前月比10.1%低下の102.7となった。業種別にみると、輸送機械工業が前月比マイナスとなったことなどから、3カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、輸送機械工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比4.9%の低下となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

鉱工業生産指数



出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数

(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

	2025年2月	3月	4月
宮城県	107.3	114.3	102.7
(前年比)	▲ 1.4	8.3	▲ 4.9
東北	104.6	113.8	107.5
(前年比)	▲ 2.1	5.1	▲ 2.7
全国	102.2	102.4	101.3
(前年比)	0.1	1.0	0.5

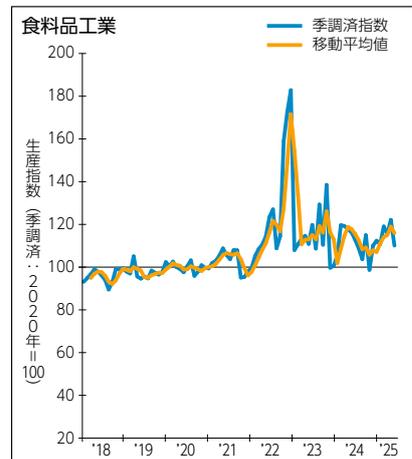
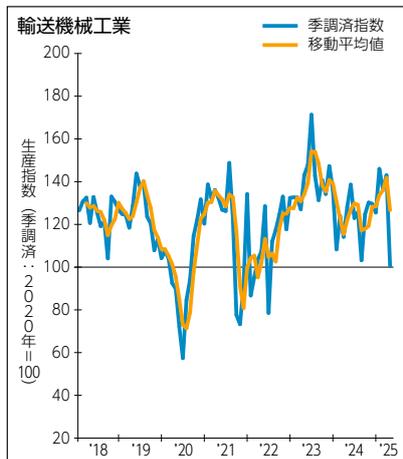
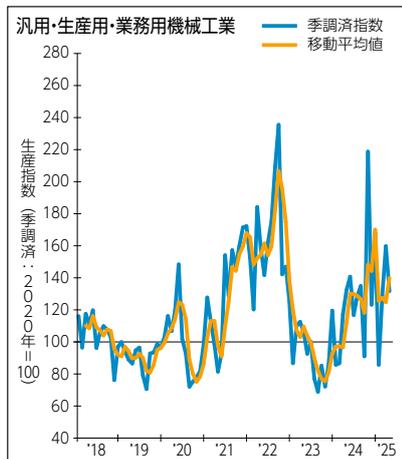
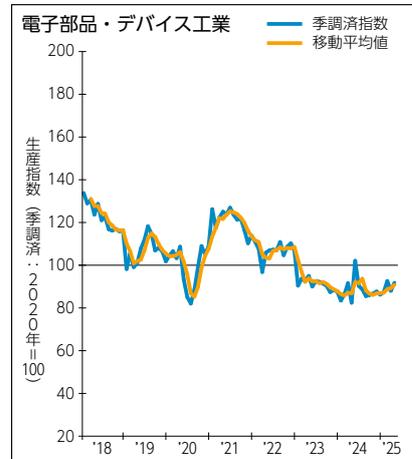
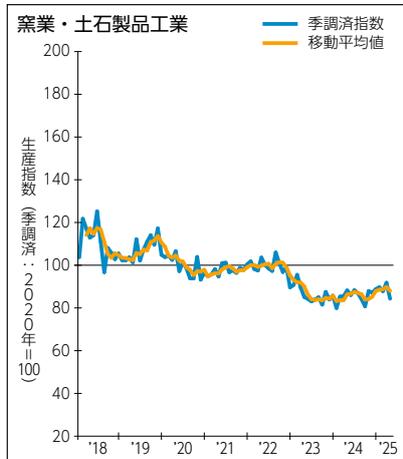
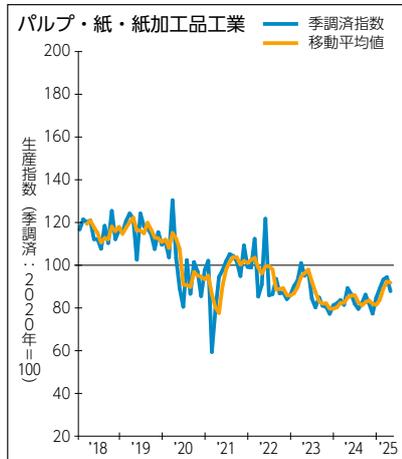
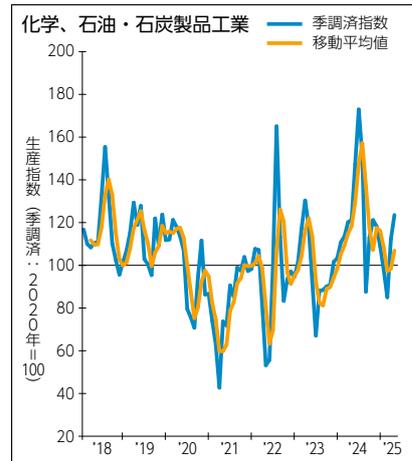
当月(4月)は主力業種である汎用・生産用・業務用機械や輸送機械が大幅に低下しました。もともと振れが大きく、前月の反動という面もありますが、次月(5月)以降はトランプ関税による間接的な影響を注視する必要があります。



主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

業種	2025年2月	3月	4月
化学、石油・石炭製品工業	85.0	112.2	123.6
(前年比)	▲ 21.8	▲ 6.7	2.0
パルプ・紙・紙加工品工業	93.3	94.4	87.8
(前年比)	0.4	16.0	▲ 1.7
窯業・土石製品工業	87.8	91.8	84.3
(前年比)	▲ 2.7	7.5	▲ 4.5
電子部品・デバイス工業	92.6	88.0	91.8
(前年比)	▲ 1.8	▲ 3.9	11.4
汎用・生産用・業務用機械工業	128.7	159.8	131.6
(前年比)	51.2	36.3	▲ 0.7
輸送機械工業	136.4	143.1	100.5
(前年比)	2.2	25.3	▲ 21.6
食料品工業	115.6	122.2	110.1
(前年比)	▲ 11.7	3.9	▲ 5.3



建設動向

公共工事請負金額は持ち直しの動きとなっている。住宅着工は反動などから大幅に減少している。建築物着工は持続的な勢いを欠く動きとなっている。

公共工事

5月の公共工事請負金額は、前年同月比10.1%増の248億円となり、3カ月連続して前年を上回っている。

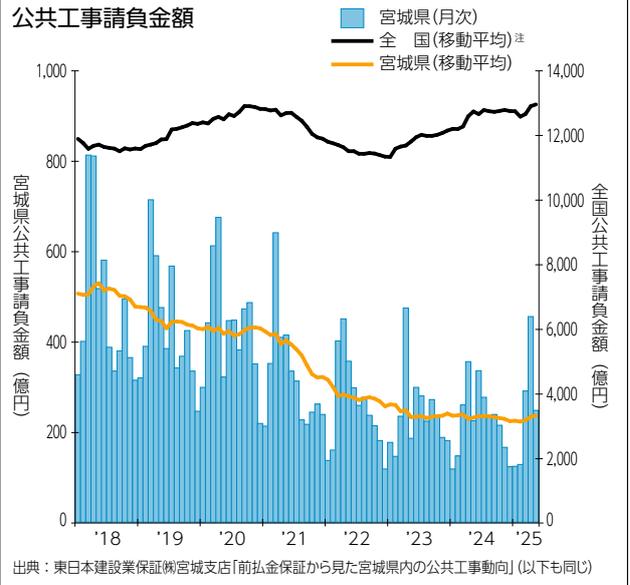
発注者別にみると、国の機関では、同2.6倍の82億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同24.5%減の35億円、市町村等は同11.0%減の131億円となり、全体で同14.2%減の166億円と前年を下回った。

当月は大学や図書館など文教施設の改修・整備に加え、消防インフラの新設投資など大型の建設投資が重なりました。震災復旧・防災設備など土木関連が一巡しつつあるなか、老朽化施設の建て替えなどが進んでいます。

CHECK!

公共工事請負金額



出典：東日本建設業保証(株)宮城支店「前払金保証から見た宮城県内の公共工事動向」(以下も同じ)
注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
宮城県	12.1	28.1	10.1
国の機関	▲ 20.8	25.1	2.6倍
県	▲ 14.4	8.2	▲ 24.5
市町村等	79.1	43.8	▲ 11.0
全国	6.0	12.0	4.0

住宅建設

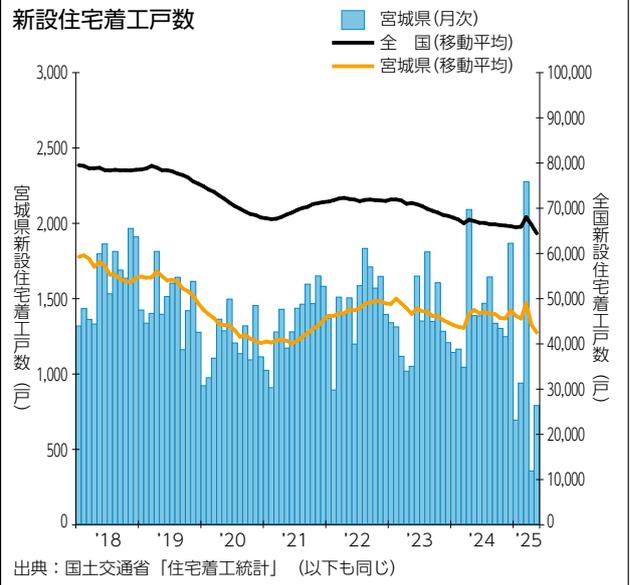
5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比43.1%減の788戸(全国34.4%減、43,237戸)となり、前月に引続き前年を下回っている。

利用関係別にみると、持家が同22.2%減(210戸)、貸家が同46.9%減(449戸)、分譲が同53.0%減(127戸)と前年を下回った。

戸数水準は前月(353戸)からやや戻したものの、もともと弱めの需要が建築基準法改正前の駆け込みで先食いされており、建築コスト上昇にも下押しされて当面は低調に推移するとみられます。

CHECK!

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」(以下も同じ)

新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
宮城県	2.2倍	▲ 83.1	▲ 43.1
持家	78.9	▲ 64.7	▲ 22.2
貸家	2.5倍	▲ 79.3	▲ 46.9
分譲	65.8	▲ 90.6	▲ 53.0
全国	39.6	▲ 26.6	▲ 34.4

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
市部	2.3倍	▲ 83.6	▲ 41.6
うち仙台市	2.3倍	▲ 87.2	▲ 51.2
うち仙台市以外	2.2倍	▲ 71.1	▲ 10.4
郡部	54.9	▲ 75.6	▲ 54.7

建築物着工

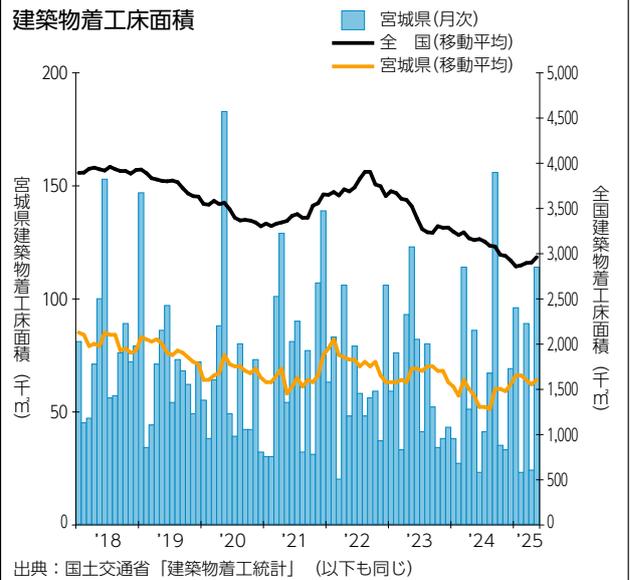
5月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比32.9%増の114千㎡、工事費予定額は同4.1倍の750億円となり、床面積は4カ月ぶり、工事費予定額は2カ月ぶりに前年を上回った。

用途別に床面積をみると、工場（57千㎡：前年同月比76.7倍）、事務所（30千㎡：同9.2倍）などが前年を上回った。

半導体製造装置大手の新生産棟（89千㎡）の着工により、8カ月ぶりに100千㎡を超えました。なお、他県ではトランプ関税以前に計画されていた大型設備投資が見直しとなる事例もみられており、今後の動向には注意が必要です。



建築物着工床面積



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積(用途別)

(前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
宮城県	▲ 22.2	▲ 54.0	32.9
事務所	3.1倍	0.5	9.2倍
店舗	3.7倍	3.4倍	▲ 77.8
工場	3.3倍	▲ 99.0	76.7倍
倉庫	59.0	▲ 59.5	▲ 82.3
その他	▲ 76.7	▲ 12.3	▲ 20.4
全国	10.8	1.6	27.2

建築物着工工事費予定額(用途別)

(前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
宮城県	47.4	▲ 51.0	4.1倍
事務所	4.1倍	34.1	22.2倍
店舗	3.4倍	2.5倍	▲ 74.5
工場	41.0倍	▲ 99.4	380.3倍
倉庫	68.9	▲ 57.2	▲ 42.3
その他	▲ 66.3	26.6	▲ 12.0
全国	36.0	34.8	60.6

消費動向

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はともに物価高による下押しが強まっている。乗用車新車販売は緩やかに持ち直している。

消費動向指数

5月の宮城県消費動向指数は、前月比5.2ポイント上昇の95.3となり、2カ月ぶりに上昇した。

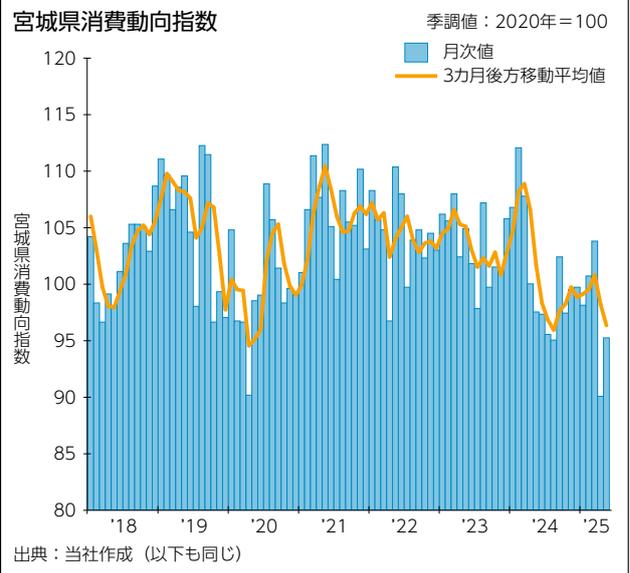
消費費目別にみると、「家具・家事用品」「被服・履物」などが上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比1.9ポイント低下の96.4となった。

大型連休を含む前月（4月）と当月の平均（92.7）が前四半期から8.2ポイントも低下しています。内訳をみても食料や教養娯楽などコア消費が低下傾向にあり、新年度に入り物価上昇に拍車がかかったことなどから家計心理はより一層慎重さが増えています。



宮城県消費動向指数



出典：当社作成（以下も同じ）

※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年=100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

宮城県消費動向指数

(季節調整値、2020年=100)

	2025年3月	4月	5月
消費動向指数	103.9	90.1	95.3
家賃指数	110.1	110.0	110.4
乗用車販売指数	88.8	108.6	105.4
コア消費支出指数	119.8	103.6	108.6

小売業主要業態販売

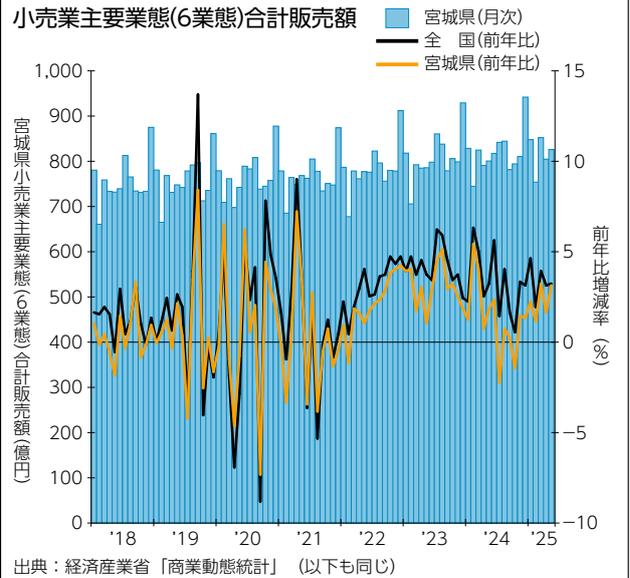
5月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比3.2%増の830億円(全国3.3%増、4兆4,295億円)となり、7カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同2.2%増の340億円(全国1.8%増)となり、5カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同3.3%増の212億円(全国4.2%増)となり、7カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同3.1%増の54億円(全国4.7%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは同7.8%増の161億円(全国6.4%増)となり、50カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同3.5%減の62億円(全国0.6%増)となり、前月に引続き前年を下回っている。

物価上昇(値上げ)が名目販売額を押し上げていますが、増加率は物価上昇率を下回っており、実質ベースのマイナスは続いています。特にスーパーは食品の物価上昇率(6.2%)に比して伸びが鈍く、買い控えが広がっていることがうかがえます。



小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
6業態合計(宮城県)	3.3	1.7	3.2
百貨店・スーパー	0.3	1.2	2.2
コンビニエンスストア	4.2	2.8	3.3
家電大型専門店	3.6	▲ 1.4	3.1
ドラッグストア	8.6	5.4	7.8
ホームセンター	5.1	▲ 5.0	▲ 3.5
6業態合計(全国)	4.0	3.2	3.3

注) 全店ベース

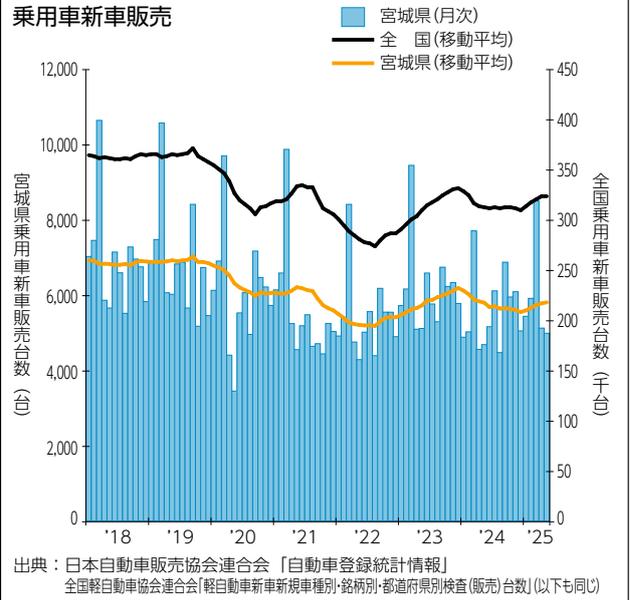
乗用車新車販売

5月の乗用車新車販売台数は、前年同月比6.4%増(全国3.1%増)の4,995台となり、5カ月連続して前年を上回っている。車種別にみると、普通車は、同1.2%減(全国4.2%減)の2,053台となり、5カ月ぶりに前年を下回った。小型車は、同15.3%増(全国11.4%増)の1,324台となり、5カ月連続して前年を上回っている。また、軽乗用車は、同10.3%増(全国8.1%増)の1,618台となり、5カ月連続して前年を上回っている。

前年の認証不正問題による出荷停止の影響は剥落しつつあり、前々年同月の販売台数を下回るなどなお低調な水準と言えます。国内新車販売にトランプ関税の直接的影響はありませんが、生産や輸入、企業収益など業界全体の動向から受ける間接的影響が注目されます。



乗用車新車販売



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
宮城県	10.3	12.4	6.4
普通車	4.5	0.05	▲ 1.2
小型車	16.2	22.1	15.3
軽乗用車	15.0	24.0	10.3
全国	9.5	11.0	3.1

観光動向

4月の延べ宿泊者数は、前年同月比6.5%増の824千人泊となり、4カ月ぶりに前年を上回った。

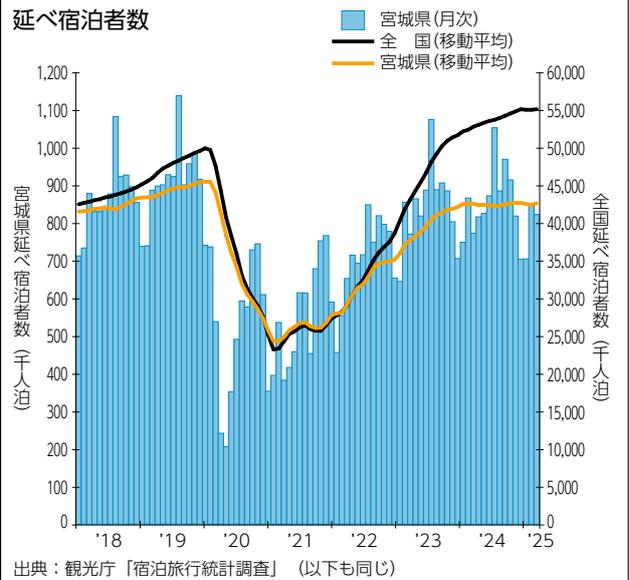
居住地別にみると、県内宿泊客は同4.8%増の171千人泊と13カ月ぶりに前年を上回り、県外宿泊客は同5.0%増の523千人泊と前月に引続き前年を上回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同44.1%増の101千人泊となり、33カ月連続して前年を上回っている。

県内客・県外客・外国人が揃って前年を上回るのは14カ月ぶりです。ただ、コロナ前（2018年同月）比では全体で1.0%減、外国人は2.1倍と伸びたものの、県内客16.5%減、県外客4.0%減と国内客は十分に回復していません。



延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（以下も同じ）

延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2025年2月	3月	4月
宮城県	706	851	824
うち県内客	180	200	171
うち県外客	414	559	523
うち外国人	99	68	101
全国	47,934	55,507	53,045
うち外国人	13,760	14,815	17,288

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2025年2月	3月	4月
宮城県	▲ 5.8	▲ 1.9	6.5
うち県内客	▲ 0.7	▲ 14.6	4.8
うち県外客	▲ 13.1	2.0	5.0
うち外国人	32.3	8.5	44.1
全国	▲ 1.6	▲ 0.1	1.9
うち外国人	16.6	14.5	20.4

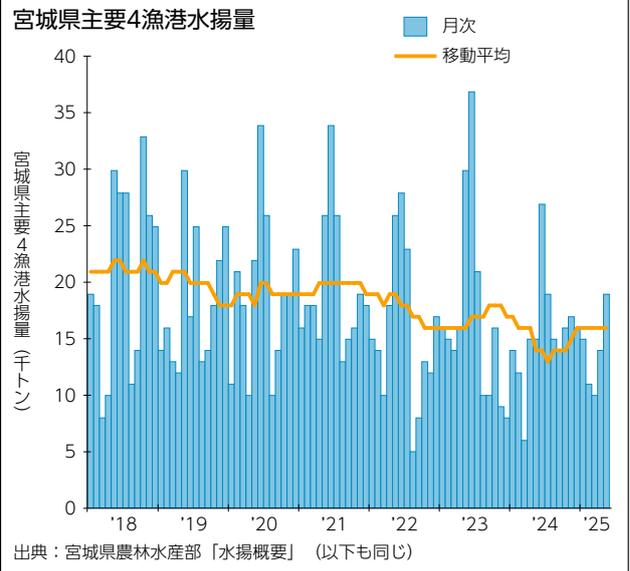
水産動向

5月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚は、数量が前年同月比28.4%増の19千トン、金額が同7.7%増の51億円となり、数量、金額とも2カ月ぶりに前年を上回った。

魚種別にみると、数量はマイワシなど、金額はビンチョウなどが増加した。

漁港別にみると、数量は全ての漁港が前年を上回った。金額は石巻、女川が前年を下回ったが、塩釜、気仙沼が前年を上回った。

宮城県主要4漁港水揚量



出典：宮城県農林水産部「水揚概要」（以下も同じ）

主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
合計	60.4	▲ 6.1	28.4
塩釜	▲ 58.2	▲ 7.8	2.2倍
石巻	36.9	▲ 1.3	17.7
気仙沼	34.7	▲ 14.7	37.2
女川	3.9倍	▲ 11.3	31.6

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
合計	9.6	▲ 13.9	7.7
塩釜	▲ 21.3	40.6	18.6
石巻	▲ 5.0	▲ 29.2	▲ 10.8
気仙沼	34.8	▲ 11.5	52.3
女川	2.3倍	▲ 50.8	▲ 16.7

貿易動向

5月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比22.0%減の280億円と2カ月ぶりに前年を下回った。輸入が同1.0%減の964億円と6カ月連続して前年を下回っている。

米国向け輸出（79億円）は前年比7.1%減、内訳では「ゴム製品」（25億円）が同8.9%減、「原動機」（4億円）が同46.8%減の一方、「電池」が同98.2%増と自動車関連でも品目によって差があり、自動車への追加関税の影響は一概ではありません。



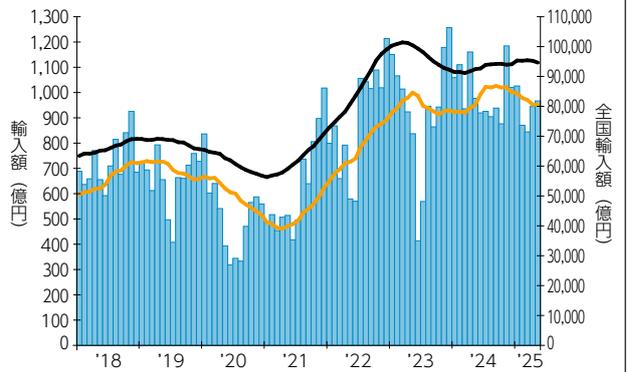
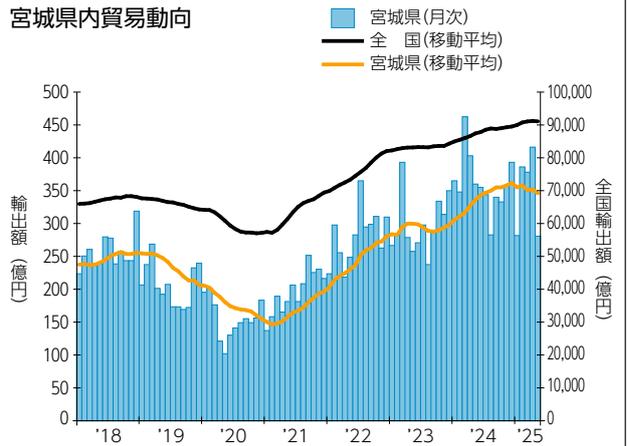
輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2025年3月	4月	5月
宮城県	輸出	▲ 18.1	3.2	▲ 22.0
	輸入	▲ 9.8	▲ 18.6	▲ 1.0
全国	輸出	4.0	2.0	▲ 1.7
	輸入	1.9	▲ 2.1	▲ 7.7

各港の輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2025年3月	4月	5月
仙台塩釜	輸出	▲ 18.7	4.4	▲ 21.7
	輸入	▲ 9.6	▲ 19.8	0.5
石巻	輸出	61.5	▲ 27.3	▲ 22.7
	輸入	▲ 14.1	▲ 1.8	▲ 29.6
気仙沼	輸出	▲ 98.9	9.0倍	▲ 91.9
	輸入	2.4倍	5.3倍	3.2倍
仙台空港	輸出	▲ 35.6	▲ 40.0	▲ 33.4
	輸入	47.0	2.6	全減

宮城県内貿易動向



出典：財務省「財務省貿易統計」（以下も同じ）

物価動向

5月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比4.0%上昇の114.1となり47カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

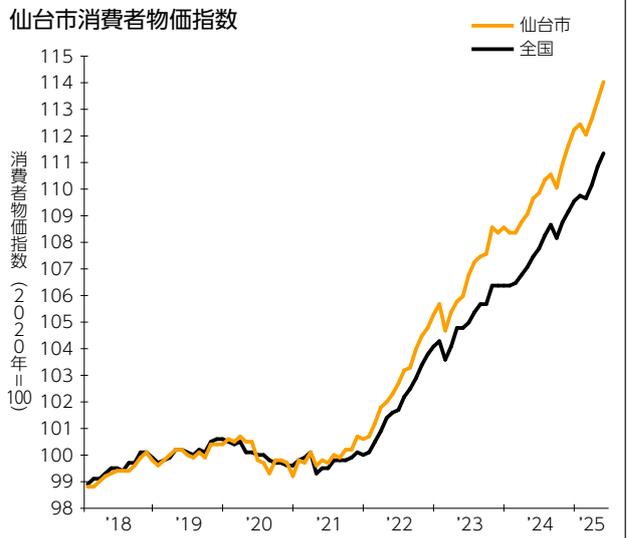
米価高騰がピークを迎え「生鮮食品を除く食料」は前年比+7.7%、指数も126.9と記録的な上昇となっています。生活費必需財のうち「光熱・水道」「交通・通信」は政府の価格抑制策により先行きが見通せませんが「食料」は高止まりが予想され、家計への下押しも続きそうです。



消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
生鮮食品を除く食料	6.4	7.2	7.7
住居	2.5	2.5	2.5
光熱・水道	4.7	8.0	7.1
家具・家事用品	3.2	4.7	2.0
被服および履物	1.5	1.0	1.4
保健医療	1.3	2.3	2.2
交通・通信	2.6	2.7	2.6
教育	2.7	▲ 8.9	▲ 8.4
教養娯楽	1.3	1.8	3.1
諸雑費	1.9	1.7	1.6

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月
仙台市	3.5	3.9	4.0
全国	3.2	3.5	3.7

雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

5月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数、有効求人数とも増加したことなどから、前月比横ばいの1.22倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べてサービス業、製造業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.22倍）、築館（1.21倍）などが1倍を上回っている一方、塩釜（0.66倍）、大河原（0.69倍）などは1倍を下回っている。

新規求人数が減少するも求人・求職ともに増え、有効求人倍率は横ばい。就職率（就職件数÷新規求職件数）が8カ月連続して前年を下回るなど需給ミスマッチによる滞留長期化がうかがわれます。平均求人賃金は上昇していますが、労働力確保に十分な水準には達していないようです。

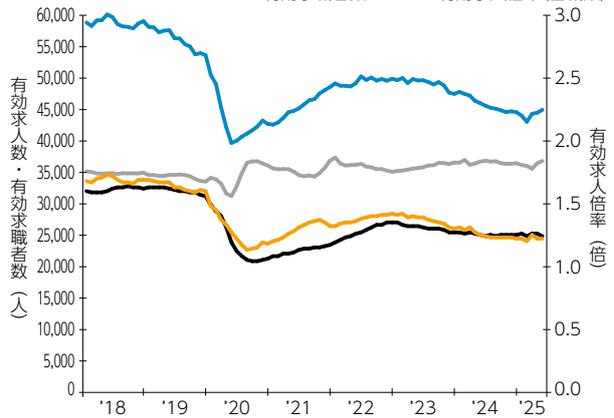


有効求人倍率等 (倍、%)

	2025年3月	4月	5月
有効求人倍率(宮城県)	1.25	1.22	1.22
(全国)	1.26	1.26	1.24
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 8.7

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2025年3月	4月	5月
気仙沼	1.11	1.06	1.10
石巻	1.50	1.27	1.18
塩釜	0.73	0.67	0.66
仙台	1.44	1.28	1.22
大和	1.38	1.26	1.18
古川	1.01	0.94	0.90
築館	1.42	1.26	1.21
迫	0.84	0.75	0.71
大河原	0.87	0.73	0.69
白石	1.17	1.12	1.07

倒産動向

5月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比13.6%減の19件、負債額では同11.1%減の23億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が7件、サービス業他が6件などとなっている。

主因別では、販売不振が11件、他社倒産の余波が3件などとなっている。

地域別では、仙台市が11件、登米市が3件などとなっている。

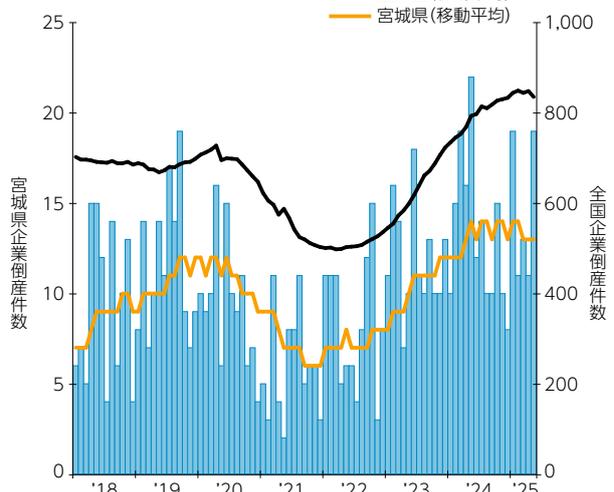
倒産件数・負債総額ともに4カ月連続で前年同月比減と小康状態ですが、足元では増加基調に転じているとみられます。資材高・人手不足など経営環境が悪化する建設業で増加しています。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

	2025年3月	4月	5月	
宮城県	件数	13	11	19
	負債額	853	398	2,282
全国	件数	853	828	857
	負債額	98,586	102,802	90,389

宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」（以下も同じ）

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

	2025年3月	4月	5月	
宮城県	件数	▲ 31.6	▲ 31.3	▲ 13.6
	負債額	▲ 68.9	▲ 84.7	▲ 11.1
全国	件数	▲ 5.8	5.7	▲ 15.1
	負債額	▲ 30.7	▲ 9.4	▲ 33.9

人口動向

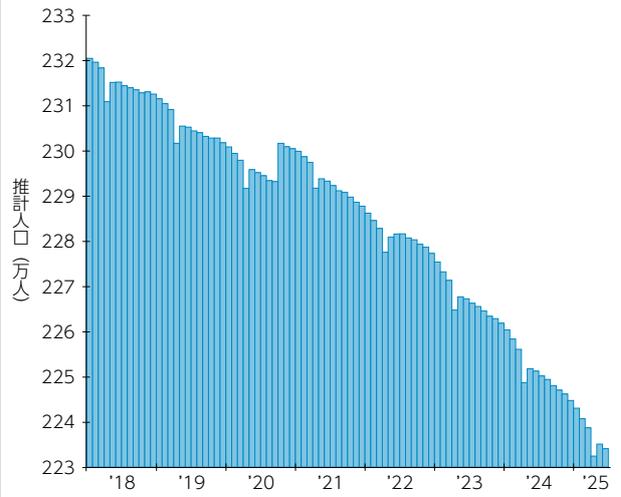
6月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比17,253人減の223万4,093人となり、50カ月連続して前年を下回っている。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、富谷市（32人増）、利府町（29人増）の2市町、減少したのは石巻市（2,204人減）、仙台市（1,933人減）など33市町村となっている。

人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,662人減、社会増減は409人増となった。

また、前月比では、自然増減は1,178人減、社会増減は167人増となり、社会増減を市町村別にみると、仙台市（356人増）、名取市（46人増）など11市町村が増加し、石巻市（83人減）、富谷市（32人減）など20市町が減少した。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口 (人)

	2025年4月	5月	6月
総人口	2,232,444	2,235,104	2,234,093
自然増減	▲ 1,605	▲ 1,349	▲ 1,178
社会増減	▲ 4,690	4,009	167

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人、%)

	2025年6月	前年比		前月比			2025年6月	前年比		前月比	
		増減数	増減率	自然増減数	社会増減数			増減数	増減率	自然増減数	社会増減数
宮城県	2,234,093	▲ 17,253	▲ 0.8	▲ 1,178	167	村田町	9,777	▲ 205	▲ 2.1	▲ 7	▲ 1
仙台市	1,094,472	▲ 1,933	▲ 0.2	▲ 279	356	柴田町	36,858	▲ 365	▲ 1.0	▲ 28	▲ 3
石巻市	130,136	▲ 2,204	▲ 1.7	▲ 124	▲ 83	川崎町	7,541	▲ 234	▲ 3.0	▲ 19	2
塩釜市	50,021	▲ 496	▲ 1.0	▲ 52	▲ 23	丸森町	10,658	▲ 333	▲ 3.0	▲ 15	0
気仙沼市	55,067	▲ 1,300	▲ 2.3	▲ 54	16	亘理町	32,230	▲ 357	▲ 1.1	▲ 25	▲ 4
白石市	29,803	▲ 623	▲ 2.0	▲ 24	▲ 19	山元町	11,344	▲ 121	▲ 1.1	▲ 8	1
名取市	78,982	▲ 47	▲ 0.06	▲ 15	46	松島町	12,420	▲ 163	▲ 1.3	▲ 13	▲ 13
角田市	25,818	▲ 507	▲ 1.9	▲ 37	▲ 23	七ヶ浜町	17,023	▲ 337	▲ 1.9	▲ 20	▲ 2
多賀城市	62,231	▲ 359	▲ 0.6	▲ 28	▲ 9	利府町	34,989	29	0.1	▲ 1	▲ 8
岩沼市	42,994	▲ 456	▲ 1.0	▲ 14	▲ 28	大和町	28,391	▲ 18	▲ 0.1	▲ 19	12
登米市	69,647	▲ 1,367	▲ 1.9	▲ 73	▲ 28	大郷町	7,276	▲ 108	▲ 1.5	▲ 8	11
栗原市	58,295	▲ 1,371	▲ 2.3	▲ 87	▲ 1	大衡村	5,449	▲ 20	▲ 0.4	▲ 3	17
東松島市	37,129	▲ 491	▲ 1.3	▲ 20	7	色麻町	6,055	▲ 148	▲ 2.4	▲ 8	0
大崎市	119,840	▲ 1,814	▲ 1.5	▲ 76	▲ 18	加美町	20,009	▲ 442	▲ 2.2	▲ 24	4
富谷市	51,506	32	0.1	▲ 9	▲ 32	涌谷町	13,872	▲ 294	▲ 2.1	▲ 18	0
蔵王町	10,505	▲ 193	▲ 1.8	▲ 11	▲ 3	美里町	22,420	▲ 355	▲ 1.6	▲ 21	▲ 3
七ヶ宿町	1,117	▲ 46	▲ 4.0	▲ 8	▲ 1	女川町	5,940	▲ 87	▲ 1.4	▲ 6	▲ 11
大河原町	23,209	▲ 202	▲ 0.9	▲ 8	8	南三陸町	11,069	▲ 318	▲ 2.8	▲ 16	0

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数

	公共工事請負金額 (億円)						建築物着工床面積 (千㎡)				建築物着工工事費予定額 (億円)			
	宮城県	東北	全国	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2023年	2,896	13,923	145,879	-6.3	-1.7	7.1	755	39,463	-0.9	-9.6	2,020	107,032	16.4	5.3
2024年	2,692	13,528	153,153	-7.1	-2.8	5.0	739	35,088	-2.1	-11.1	2,087	110,317	3.3	3.1
2022年度	2,949	14,685	139,937	-12.3	-1.8	-0.4	764	43,296	-15.6	-1.0	1,778	103,672	-2.8	8.1
2023年度	2,863	13,685	147,405	-2.9	-6.8	5.3	766	38,832	0.2	-10.3	2,024	112,359	13.8	8.4
2024年度	2,710	13,533	152,054	-5.3	-1.1	3.2	768	34,744	0.2	-10.5	2,485	112,099	22.8	-0.2
'24年1~3月	525	2,407	30,894	-5.9	-9.0	5.2	179	8,715	6.5	-6.8	369	27,849	1.0	23.7
4~6月	917	5,386	57,423	-4.4	-0.5	8.8	160	9,271	-46.3	-8.8	551	28,312	-41.0	10.6
7~9月	748	3,741	38,765	-3.7	0.9	2.2	263	8,712	52.2	-10.2	812	28,054	91.4	1.8
10~12月	503	1,995	26,072	-16.6	-7.6	1.2	137	8,390	18.1	-18.1	355	26,103	19.5	-16.7
'25年1~3月	543	2,411	29,795	3.5	0.2	-3.6	208	8,383	15.9	-3.8	767	29,657	107.9	6.5
2024年5月	225	1,304	15,901	21.0	-17.2	12.3	86	2,630	-30.1	-8.4	184	7,225	-0.7	-1.5
6月	336	1,721	17,197	12.4	-2.3	-5.3	23	3,083	-72.3	4.6	238	8,393	-57.0	4.2
7月	277	1,500	15,307	-1.1	-2.4	10.9	41	2,866	-0.5	-10.3	285	8,556	197.4	-10.0
8月	232	1,157	10,706	3.5	7.7	-3.9	67	2,712	-17.1	-17.3	184	10,640	-2.4	35.1
9月	239	1,084	12,752	-12.2	-1.1	-1.9	156	3,134	202.3	-2.9	343	8,858	144.6	-12.9
10月	215	1,037	11,288	-8.2	8.3	3.2	35	3,008	2.2	-26.8	79	10,328	-13.5	-9.1
11月	166	490	7,999	-11.7	-16.5	4.6	33	2,817	-14.6	-4.7	73	8,645	-23.9	0.9
12月	123	469	6,785	-32.5	-23.9	-5.7	69	2,566	59.4	-19.4	203	7,129	84.3	-37.5
2025年1月	124	488	5,662	5.4	4.0	-1.3	96	2,247	154.4	-26.1	387	7,146	323.5	-28.9
2月	128	556	6,914	-13.3	9.1	-22.5	23	2,943	-15.2	5.4	52	9,246	-5.8	14.9
3月	291	1,368	17,220	12.1	-4.2	6.0	89	3,193	-22.2	10.8	328	13,265	47.4	36.0
4月	456	2,594	27,254	28.1	9.9	12.0	24	3,615	-54.0	1.6	63	17,112	-51.0	34.8
5月	248	1,611	16,541	10.1	23.6	4.0	114	3,346	32.9	27.2	750	11,605	307.3	60.6
資料出所	東日本建設業保証(株)宮城支店 北海道、東日本、西日本の三保証株式会社						国土交通省							

注) ①公共工事請負金額の暦年・四半期の数値は当社集計。
 ②建築物着工床面積および建築物着工工事費予定額は民間非住宅の数値で、当社集計。

	消費活動指数	宮城県消費動向指数	百貨店・スーパー (販売額: 右同)		コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター			
			宮城県 (億円)	全国 (億円)	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)	
					宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国
2023年		103.6	4,131	216,049	3.0	4.6	2.9	4.4	0.1	-1.1	8.2	8.2	-3.3	-0.03
2024年		101.0	4,165	223,812	0.8	3.6	-0.7	1.2	-0.1	2.1	7.0	6.9	-1.3	1.7
2022年度		104.5	4,039	208,912	1.6	4.5	3.6	4.6	0.4	-0.2	8.2	5.8	-1.1	-0.9
2023年度		104.2	4,173	218,968	3.3	4.8	2.1	3.6	1.0	-0.8	8.5	8.9	-3.5	0.3
2024年度		99.0	4,170	225,543	-0.1	3.0	-0.2	1.4	0.8	3.5	5.9	6.1	-0.1	1.6
'24年1~3月	96.5	109.0	1,031	54,083	4.2	5.7	0.5	2.4	2.5	-0.3	9.2	9.1	-2.9	1.0
4~6月	96.6	98.4	1,002	54,362	0.5	4.6	-0.6	1.0	4.3	4.9	7.5	6.8	0.5	2.1
7~9月	97.7	97.7	1,018	55,016	-0.5	2.5	-2.7	0.7	-3.9	1.8	5.2	5.2	-1.5	2.7
10~12月	97.1	98.9	1,114	60,351	-0.7	1.9	0.1	1.0	-2.9	2.2	6.4	6.7	-1.6	1.0
'25年1~3月	97.9	100.9	1,037	55,814	0.5	3.2	2.6	2.9	5.7	5.3	4.6	5.8	2.4	0.6
2024年5月	96.3	97.6	332	18,172	0.6	4.2	-0.4	1.3	7.5	0.6	7.5	6.7	-0.4	1.0
6月	96.8	97.4	341	18,636	2.0	6.7	-0.03	1.6	0.2	10.3	7.5	7.5	3.4	4.6
7月	97.6	95.6	346	18,958	-3.2	1.2	-2.6	0.7	-8.1	1.6	5.3	4.5	-6.1	-1.5
8月	97.7	95.1	350	18,664	1.6	4.5	-3.2	0.7	-1.6	3.6	5.4	7.4	1.8	7.9
9月	97.6	102.5	322	17,394	0.2	1.8	-2.4	0.6	-1.4	0.2	4.9	3.8	0.5	2.2
10月	97.2	97.5	336	17,895	-2.5	-0.6	-0.6	2.0	-8.6	-2.4	4.3	4.3	-5.5	-3.3
11月	97.1	99.6	350	18,976	1.3	3.3	0.3	1.9	-1.5	3.3	5.3	6.2	0.2	2.8
12月	97.1	99.8	428	23,480	-0.8	2.8	0.6	-0.9	0.4	4.8	9.6	9.3	0.3	3.2
2025年1月	96.9	98.2	359	19,159	0.5	4.9	3.1	4.1	8.0	5.0	2.9	6.3	1.3	0.6
2月	98.7	100.8	322	17,306	0.8	1.9	0.3	0.3	4.9	5.6	2.3	3.4	0.3	0.3
3月	98.1	103.9	355	19,350	0.3	2.8	4.2	4.1	3.6	5.3	8.6	7.6	5.1	0.9
4月	98.0	90.1	333	18,025	1.2	2.7	2.8	3.4	-1.4	1.1	5.4	6.7	-5.0	-0.5
5月	97.7	95.3	340	18,498	2.2	1.8	3.3	4.2	3.1	4.7	7.8	6.4	-3.5	0.6
資料出所	日本銀行 当社		経済産業省											

注) ①消費活動指数は2015=100、宮城県消費動向指数は2020=100とした季節調整値。
 ②百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの前年比は全店ベース。

	乗用車新車販売台数						延べ宿泊者数 (千人泊)				外国人延べ宿泊者数 (千人泊)			
	宮城県 (台)	東北 (台)	全国 (千台)	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2023年	74,387	287,733	3,988	14.4	15.1	15.8	10,072	617,475	20.1	37.1	526	117,751	701.3	613.5
2024年	66,682	259,246	3,721	-10.4	-9.9	-6.7	10,266	659,065	1.9	6.7	777	164,467	47.7	39.7
2022年度	67,620	262,607	3,609	6.7	6.4	4.2	8,938	503,999	32.4	48.5	133	36,262	216.5	783.8
2023年度	70,665	270,964	3,802	4.5	3.2	5.4	10,239	629,728	14.6	24.9	653	133,219	391.3	267.4
2024年度	68,924	268,738	3,856	-2.5	-0.8	1.4	10,202	661,607	-0.4	5.1	841	172,241	28.7	29.3
'24年1~3月	17,645	66,984	967	-17.4	-20.0	-16.1	2,325	149,777	7.8	8.9	198	35,950	178.4	75.5
4~6月	14,429	58,742	831	-14.2	-10.0	-6.9	2,418	157,096	-1.6	7.7	165	41,366	16.9	45.3
7~9月	17,490	68,861	976	-1.9	-0.3	1.2	2,816	178,574	-1.4	4.4	178	40,340	32.3	27.1
10~12月	17,118	64,659	947	-6.8	-7.2	-3.2	2,707	173,618	4.1	6.4	235	46,810	31.5	26.3
'25年1~3月	19,887	76,476	1,102	12.7	14.2	14.0	2,262	152,319	-2.7	1.7	263	43,725	32.3	21.6
2024年5月	4,693	18,688	261	-8.4	-5.8	-3.9	818	54,367	-5.6	5.9	45	13,595	9.7	50.7
6月	5,170	21,622	311	-21.6	-12.8	-6.1	827	50,647	0.8	6.9	50	13,411	8.9	40.1
7月	6,124	24,078	338	6.1	6.2	5.5	874	57,226	-1.7	5.1	59	14,587	32.4	32.0
8月	4,481	18,265	271	-15.5	-9.4	-3.2	1,055	66,263	-2.1	3.0	64	13,342	30.8	25.9
9月	6,885	26,518	366	2.0	1.2	0.8	887	55,085	-0.4	5.6	55	12,411	34.0	23.1
10月	5,960	23,320	337	-4.5	-4.4	1.0	971	59,579	7.0	6.2	81	15,885	19.3	27.1
11月	6,100	23,150	330	-3.8	-6.5	-3.9	916	58,122	3.2	6.7	78	15,092	36.3	25.4
12月	5,058	18,189	280	-12.6	-11.5	-7.0	820	55,917	1.9	6.5	77	15,833	41.7	26.2
2025年1月	5,446	20,566	328	11.4	13.2	15.0	705	48,878	-0.4	7.4	96	15,149	56.8	35.2
2月	5,924	22,825	354	17.7	20.3	18.9	706	47,934	-5.8	-1.6	99	13,760	32.3	16.6
3月	8,517	33,085	420	10.3	10.9	9.5	851	55,507	-1.9	-0.1	68	14,815	8.5	14.5
4月	5,132	20,192	287	12.4	9.5	11.0	824	53,045	6.5	1.9	101	17,288	44.1	20.4
5月	4,995	19,102	269	6.4	2.2	3.1								
資料出所	日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会						観光庁							

注) ①乗用車新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車および軽乗用車の合計値。
 ②延べ宿泊者数は全宿泊施設の数値。

	完全失業者		新規求人倍率			有効求人倍率			企業物価指数		消費者物価指数 (2020年=100)			
	失業者数 (万人)	失業率 (%)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	2020年 = 100	前年比 (%)	前年比 (%)			
											仙台市	全国	仙台市	全国
2023年	178	2.6	2.15	2.00	2.29	1.37	1.33	1.31	119.9	4.4	106.9	105.2	3.7	3.1
2024年	176	2.5	2.01	1.91	2.25	1.25	1.24	1.25	122.6	2.3	110.0	107.9	3.0	2.5
2022年度	178	2.6	2.23	2.12	2.31	1.40	1.39	1.31	117.2	9.5	104.0	103.0	3.6	3.0
2023年度	178	2.6	2.11	1.97	2.28	1.34	1.30	1.29	120.0	2.4	107.7	105.9	3.5	2.8
2024年度	175	2.5	1.99	1.92	2.26	1.23	1.23	1.25	123.9	3.3	111.0	108.7	3.1	2.7
'24年1~3月	178	2.6	2.09	1.95	2.29	1.30	1.26	1.27	120.6	0.7	108.5	106.6	3.1	2.5
4~6月	179	2.6	1.97	1.88	2.22	1.25	1.24	1.25	122.2	1.9	109.6	107.5	3.2	2.5
7~9月	175	2.5	2.00	1.92	2.25	1.23	1.23	1.25	123.3	2.9	110.4	108.4	2.7	2.7
10~12月	172	2.5	1.97	1.90	2.26	1.23	1.22	1.25	124.5	3.8	111.7	109.2	2.9	2.6
'25年1~3月	172	2.5	2.02	1.97	2.31	1.22	1.23	1.25	125.7	4.2	112.4	109.9	3.6	3.1
2024年5月	181	2.6	1.98	1.87	2.20	1.25	1.24	1.25	122.4	2.3	109.7	107.5	3.4	2.5
6月	176	2.5	1.95	1.84	2.25	1.24	1.22	1.24	122.7	2.6	109.9	107.8	2.9	2.6
7月	183	2.6	1.99	1.94	2.24	1.23	1.23	1.25	123.4	3.1	110.4	108.3	2.8	2.7
8月	172	2.5	1.99	1.96	2.30	1.23	1.23	1.24	123.1	2.6	110.6	108.7	2.9	2.8
9月	170	2.4	2.03	1.87	2.20	1.23	1.23	1.25	123.5	3.1	110.1	108.2	2.3	2.4
10月	172	2.5	1.93	1.90	2.25	1.23	1.22	1.25	124.0	3.7	111.0	108.8	2.2	2.3
11月	173	2.5	1.91	1.90	2.25	1.23	1.22	1.25	124.4	3.8	111.7	109.2	3.0	2.7
12月	172	2.5	2.06	1.90	2.27	1.22	1.21	1.25	125.0	4.0	112.3	109.6	3.5	3.0
2025年1月	174	2.5	1.98	2.01	2.32	1.22	1.23	1.26	125.3	4.2	112.5	109.8	3.8	3.2
2月	168	2.4	2.05	1.97	2.30	1.20	1.21	1.24	125.7	4.3	112.1	109.7	3.4	3.0
3月	173	2.5	2.04	1.94	2.32	1.25	1.24	1.26	126.1	4.3	112.7	110.2	3.5	3.2
4月	176	2.5	2.00	1.94	2.24	1.22	1.23	1.26	126.5	4.1	113.4	110.9	3.9	3.5
5月	172	2.5	1.90	1.85	2.14	1.22	1.22	1.24	126.3	3.2	114.1	111.4	4.0	3.7
資料出所	総務省		厚生労働省					日本銀行		総務省・宮城県				

注) ①完全失業者、企業物価指数は全国の数値。 ②消費者物価指数は生鮮食品を除く総合指数。
 ③仙台市消費者物価指数の四半期の数値は当社集計。

	宮城県主要4漁港水揚								宮城県貿易			
	水揚数量 (千トン)	前年比 (%)					金額		輸出		輸入	
		塩釜	石巻	気仙沼	女川	水揚金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	
2023年	203	7.9	14.6	-5.1	41.4	-1.2	634	28.1	3,562	6.1	11,129	4.2
2024年	187	-8.0	2.1	-11.9	3.9	-25.1	600	-5.3	4,331	21.6	11,977	7.6
2022年度	194	-12.2	-21.5	11.3	-37.4	-18.2	525	7.3	3,525	33.6	11,577	38.8
2023年度	190	-2.1	24.8	-13.7	34.2	-25.6	617	17.5	3,792	7.6	11,004	-4.9
2024年度	191	0.5	-16.2	-6.4	5.9	20.8	594	-3.8	4,203	10.8	11,615	5.5
'24年1~3月	32	-29.4	34.4	-28.5	-16.2	-53.2	80	-17.7	1,172	24.5	3,096	-3.9
4~6月	58	-31.2	-33.9	-33.1	-28.9	-26.7	180	-21.7	1,115	38.7	3,048	40.5
7~9月	48	17.3	63.3	11.0	24.6	-33.4	170	0.7	963	17.1	2,761	16.4
10~12月	49	48.2	-6.5	68.3	31.4	90.9	171	23.2	1,081	8.7	3,072	-8.8
'25年1~3月	36	12.8	-59.2	-5.3	-2.3	132.9	73	-8.6	1,044	-10.9	2,734	-11.7
2024年5月	15	-50.7	0.1	-47.6	-59.8	-56.9	47	-40.3	359	39.9	974	16.6
6月	27	-27.2	-13.3	-30.9	-20.0	-31.6	96	-14.8	354	31.1	917	122.2
7月	19	-11.4	58.9	7.9	-17.1	-35.0	70	-10.9	343	15.3	923	62.5
8月	15	53.4	319.3	5.3	74.9	-64.7	48	15.7	282	18.7	902	-4.3
9月	14	43.4	-29.9	19.9	83.3	5.1	52	6.7	339	17.8	936	8.6
10月	16	-0.1	21.4	2.2	-11.2	32.5	70	11.9	332	-0.6	874	-7.0
11月	17	83.0	108.1	70.9	91.7	87.1	65	48.6	357	14.3	1,181	0.5
12月	16	107.7	-69.3	174.0	108.6	283.2	36	10.7	392	12.5	1,017	-18.8
2025年1月	15	7.7	-83.4	-6.6	30.2	77.0	26	-17.7	281	-22.7	1,023	-3.1
2月	11	-5.5	0.7	-26.5	-60.6	143.4	25	-12.0	385	11.0	868	-21.5
3月	10	60.4	-58.2	36.9	34.7	287.9	23	9.6	377	-18.1	842	-9.8
4月	14	-6.1	-7.8	-1.3	-14.7	-11.3	31	-13.9	415	3.2	942	-18.6
5月	19	28.4	118.8	17.7	37.2	31.6	51	7.7	280	-22.0	964	-1.0
資料出所	宮 城 県								財 務 省			

注) 宮城県主要4漁港水揚の年度・四半期の数値および宮城県貿易の年度・四半期・月次の数値は当社集計。

	企 業 倒 産 (負債総額1千万円以上)								宮城県内預金残高		宮城県内貸出金残高		
	件数(件)	前年比 (%)			負債額(億円)		前年比 (%)			金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
		宮城県	宮城県	東 北	全 国	宮城県	宮城県	東 北	全 国				
2023年	143	43.0	27.3	35.2	187	-17.6	56.7	3.1	121,335	0.3	80,263	2.5	
2024年	161	12.6	30.9	15.1	232	24.0	7.8	-2.5	122,184	0.7	83,132	3.6	
2022年度	108	25.6	15.7	15.1	225	12.8	-4.6	99.0	121,092	2.3	78,618	5.9	
2023年度	146	35.2	47.3	31.6	223	-0.8	40.0	6.0	121,884	0.7	80,443	2.3	
2024年度	160	9.6	16.0	12.1	210	-5.6	3.4	-3.6	122,583	0.6	83,396	3.7	
'24年1~3月	44	7.3	57.9	18.6	81	80.1	12.2	20.1	121,884	0.7	80,443	2.3	
4~6月	50	42.9	29.7	25.2	69	256.8	-0.1	-43.2	121,683	0.9	80,659	2.7	
7~9月	34	0.0	19.5	10.9	52	-33.4	0.7	5.5	119,135	-2.2	81,343	2.6	
10~12月	33	0.0	20.9	7.6	30	-34.1	17.1	20.0	122,184	0.7	83,132	3.6	
'25年1~3月	43	-2.3	-0.7	6.0	60	-26.4	-3.9	8.4	122,583	0.6	83,396	3.7	
2024年5月	22	120.0	100.0	42.9	26	388.0	252.0	-50.9	120,536	0.5	80,466	2.7	
6月	12	-33.3	-25.9	6.5	18	51.2	-69.3	-27.2	121,683	0.9	80,659	2.7	
7月	14	27.3	35.0	25.7	21	-41.8	-8.1	381.8	120,311	-0.4	81,025	3.0	
8月	10	0.0	22.9	-4.9	24	107.9	124.4	-6.5	120,951	-0.3	81,251	3.1	
9月	10	-23.1	0.0	12.1	7	-76.9	-45.3	-80.8	119,135	-2.2	81,343	2.6	
10月	15	50.0	75.8	14.6	14	25.7	201.9	-17.9	120,466	0.1	81,977	3.5	
11月	10	0.0	38.7	4.2	10	-58.1	-19.3	68.9	121,155	1.0	82,502	3.8	
12月	8	-38.5	-25.5	4.0	6	-41.3	-47.8	88.0	122,184	0.7	83,132	3.6	
2025年1月	19	90.0	100.0	19.8	37	54.7	66.1	53.5	120,264	0.01	82,841	3.6	
2月	11	-26.7	-34.5	7.3	14	-51.9	-37.3	22.7	120,628	0.2	83,292	4.1	
3月	13	-31.6	-20.3	-5.8	9	-68.9	-1.5	-30.7	122,583	0.6	83,396	3.7	
4月	11	-31.3	30.0	5.7	4	-84.7	57.9	-9.4	120,961	-0.03	83,246	4.0	
5月	19	-13.6	4.7	-15.1	23	-11.1	-16.7	-33.9	121,678	0.9	83,450	3.7	
資料出所	(株) 東 京 商 工 リ サ ー チ								日 本 銀 行				

注) ①企業倒産の四半期の数値は当社集計。

②預金残高、貸出金残高の歴年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。

経済日誌 (2025年6月分)

宮 城 県		東 北	
2日	多賀城市は多賀城創建1300年記念事業の経済効果等を公表した。参加総数（2021年～24年度）53万9061人（計画値50万人）。経済効果（推計）が90.41億円（同85.02億円）。	9日	東北活性化研究センターは5月の景気ウォッチャー調査を公表した。現状判断DIは43.3（前月比1.9ポイント増）と2カ月ぶりに改善。先行き判断DIは44.2（同2.9ポイント増）。
4日	厚生労働省は2024年人口動態統計（概数）を公表した。宮城県の出生数は11242人、合計特殊出生率は前年比▲0.07ポイントの1.00となり都道府県別でワースト2。	9日	秋田内陸縦貫鉄道（北秋田市）は2024年度決算を発表した。赤字は2億1841万円。収入3億5799万円（前年度比2.2%増）、支出5億7640万円（同4.9%増）。
16日	東北電子工業（石巻市）は登米市到新工場の建設を発表した。S造平屋延べ床面積約5240㎡。総事業費は40～45億円。車載リチウム電池ケース等を製造。2027年6月稼働予定。	12日	東北財務局は4～6月期法人企業景気予測調査を発表した。景況判断指数（BSI）は前期比+5.5ポイントの▲7.4と2期ぶりに改善。製造業は同+9.1ポイントの▲3.3。
17日	仙台市と仙台商工会議所は通行量調査結果を公表した。全8地点平均は金曜（5/23）が前年比11.2%増、2019年比4.1%増。日曜（5/25）が同6.8%増、同7.8%減。	17日	東北運輸局は東北の2024年訪日客消費動向を発表した。旅行消費額（全目的）742.91億円（19年比67.6%増）。旅行消費単価（1人1回当たり）82673円（同54.2%増）。
23日	仙台国際空港（名取市）は2024年度決算を公表した。純利益は5億5200万円（前年度比▲6.0%）と2期連続の黒字。売上高47億600万円（同+12.4%）。	25日	東北電力は7～9月使用分の電気料金特別措置の概要を公表した。1kWh当りの値引き額は7月および9月が低圧2.0円・高圧1.0円、8月が低圧2.4円、高圧1.2円。
国 内		海 外	
2日	財務省は1～3月期の法人企業統計を発表した。全産業の設備投資（金融・保険業除く）は前年同月比6.4%増の18兆7975億円と2四半期ぶりプラス。18年ぶり過去最高更新。	3日	経済協力開発機構（OECD）は経済見通しを発表した。2025年の世界の実質経済成長率を前回（3月）比▲0.2ポイントの2.9%と予測。米国は同▲0.6ポイントの1.6%。
4日	厚生労働省は2024年人口動態統計（概数）を公表した。出生数は68万6061人（前年比5.7%減）と初の70万人割れ。合計特殊出生率は1.15（同0.05ポイント減）と過去最低更新。	4日	トランプ米政権は鉄鋼・アルミニウムの追加関税を25%から50%に引き上げた。英国（25%）は対象外。輸入鋼材を防ぎ国内鉄鋼投資の活性化を目指す狙い。
9日	内閣府は2025年1～3月期の国内総生産改定値を公表した。実質は前期比0.04%減、年率換算0.2%減。速報値（同0.2%減、同0.7%減）から上方修正。	9日	中国税関総署は5月の貿易統計を発表した。対米輸出は前年同月比34.5%減の288億ドル（約4兆1600億円）。減少幅は前月（21.0%）から拡大。対米貿易黒字は41.5%減。
18日	財務省は5月の貿易統計を公表した。輸出額は前年同月比1.7%減の8兆1350億円と8カ月ぶりのマイナス、うち米国向け輸出額は同11.1%減と2カ月連続のマイナス。	29日	中国税関総署は日本産水産物の輸入を同日付で再開すると発表した。再開は約2年ぶり。宮城、福島、茨城など10都県は輸入再開の対象外となり規制を継続。

資料：日本経済新聞、河北新報ほか

「備蓄米放出の謎・既視感漂う政策姿勢」

田口 庸友

～日々は捜査、景気を動かす真犯人追跡中～

※題字も筆者

6月3日に他界した長嶋茂雄氏は、プロ野球初かつ唯一の天覧試合で天皇・皇后両陛下のご観戦が21時15分までのところ、同点で迎えた9回裏の21時12分にサヨナラ本塁打をぶっ放したのをはじめ、野球の神様に溺愛されたとしか思えない数々の記録と記憶を残し、その出現はもう望むべくもないカリスマ・スターでした。

一方で氏は「長嶋語録」という新ジャンルを築いた天然ボケと愛嬌あふれる言動で野球・スポーツ関係者のみならず多くの国民に愛されました。

- (アメリカで) こっちの子は英語がうまいねえ
- (好きな番号を聞かれ) ラッキーセブンの3
- (同窓会で同級生に) 何歳になったの？
- (車の鍵がないと騒ぎ) 今日は電車で来てた
- 今年は何回目の還暦を迎え、しかも年男です
- 決してネバーギブアップしません
- これは疲労からくる疲れですね

などキリはないですが、最近、氏のデジャヴ(既視感)と思わせる光景にしばしば出くわします。

今回のテーマは、長嶋語録にも負けない名言で奮闘する新農相の、いわゆるひとつの「備蓄米放出」についてです。

消費者物価上昇の「第2波」を牽引する米価は1年で約2倍、「食卓の4番打者」の打率が上がるほどにチーム石破の支持率が下がる中、渦中の農相が炎上・退場、代打に独特な言動が一部で人気の小泉進次郎氏が起用されました。

小泉氏は就任会見で「米は何キロを買っているのか」という意地悪な質問に「いろいろ買います。忙しいときはバックご飯も買います。」と十八番の進次郎構文でかわすと、早々に備蓄米の入札を随意契約に切り替え、「ぼんやり浮かんできた」数字なのかどうなのか、「店頭価格5キロ2000円台」という数値目標を掲げました。

就任から1週間少々で5キロ2,000円程度の随契備蓄米が店頭に並び、各地で行列ができましたが、一般銘柄米の方は依然として全国平均4,000円台でほとんど動かず、劇的な米価下落という「メークドラマ」には至っていません。

小泉氏は手綱を緩めることなく、約100万トンの備蓄米のほぼ全量に近い追加放出や輸入米の前倒しなど「やれることは何でもやってじゃぶじゃぶにする」と米価引き下げに躍起ですが、その姿勢にもまた別なデジャヴが漂います。

これは、米騒動の起点となった記録的猛暑の直前に引退した日銀前総裁による「異次元緩和」の発想そのもので、「金融緩和は永遠に不滅です」とでも言わんばかりに「期待に働きかける」政策に資源を大量投入した構図に瓜二つです。皮肉にも米騒動のおかげで物価上昇率は目標の2%どころか倍近くになっていますが、その政策コストは家計部門にしわ寄せされただけで、とても「失敗は成功のマザー」などと笑って済ませられる顛末ではありません。

今回の米価高騰は、生産・消費(需要)・流通など長年の硬直した構想的課題の噴出であり、短期間で最適解を見出すのは容易ではありません。小泉氏もその点には言及していますが、参院選前の支持率浮揚のため米価引下げの使命を負っている以上、たとえ三振で終わろうとも浅くかぶったヘルメットをフルスイングして吹っ飛ばす長嶋流のオーバーリアクションは必要なのでしょう。

ただ、そんな「やってる感」の政策総動員パフォーマンスでは問題を先送りできても解決はありません。金融政策は前総裁肝煎りのピーターパンが空を飛ばなかったばかりか、パンドラの箱が置き土産となる始末です。天才肌とみられがちな長嶋氏ですが誰にも負けぬ努力家ぶりも知られており、畢竟するに栄光の数々は血の滲む猛練習の賜物、姑息な小技で掴めるものではありません。

チーム石破が3点リードされた9回裏・2死満塁で代打登場の小泉氏が、20年前に劇場型総選挙を演出した父親のデジャヴで終わるのか、進次郎構文というファウルで粘って時間稼ぎをするのか、はたまた保護主義・減反一本槍の米作農政に全体最適をもたらす政策的イノベーションという逆転満塁サヨナラ弾を放つのか、政界の魚雷バットから目が離せません。

77R&C

編集

～「良識の府」の懲りない面々～

後記

参院選が公示されるや否や物価高対策と称して右や左の旦那様は揃いも揃ってミエと空手形を切る大盤振る舞い、巷も「減税と給付のどちらがよいか」などの議論に沸いていますが、ポピュリズムという慢性疾患で超肥満児となったザイセイ君にしてみれば「饅頭かケーキか」の選択を迫られるデストピアそのものです。「良識の府」が「日本人ファースト」「人間にファーストもセカンドもあるか」「そういうお前はレフトか」などとヤジ合戦に興じ、大同小異のバラマキ一辺倒と化すようではザイセイ君の「脱・要治療」など実に儂い夢物語でしょう。

(田口 庸友)